

## 四天王寺たまつくり苑

今年度は年度末に新型コロナウイルスによる施設内クラスターが発生し、多数の感染者が出たことは大変遺憾であり、ご利用者、ご家族、関係各位には多大なご迷惑をおかけすることとなり申し訳ございませんでした。この経験を無駄にしないよう、今後の感染予防対策に生かして参りたいと存じます。

### ～事業活動報告～

- (1) 職員育成、自己研鑽については、コロナ禍による外部研修の中止、縮小で十分な成果を得ることはできませんでした。そのような中で、感染状況が落ち着いた際での研修参加で得た情報をスタッフ間で共有し、可能な限りスキルアップと情報共有に勤めました。
- (2) 楽しく、面白い、季節にこだわった企画や催しの実施については、やはりコロナ禍で制限はありましたが、食事レクを中心とし、季節の移ろいを感じ、ご利用者の期待に沿えるよう、工夫を凝らして実施しました。  
敬老祝賀式、忘年会等では、可能な限りの感染防止対策を取りながら、職員同士が知恵を絞り、企画を出し合っごご利用者に笑顔になってもらおうと出し物を提供し、好評を得ました。
- (3) 関係機関との連携については、総合相談窓口が中心となり、虐待事案や孤立事案への対応を迅速に行い、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりの一助として貢献しました。  
集合・対面での開催は限定されましたが、オンラインを活用した情報共有や活動報告は浸透してきており、新たな連携が構築されてきているのを実感しています。
- (4) 施設開設から24年が経過し、水道管、外壁などの交換、補修工事が必要となってきましたが、ご入居者や通所サービスご利用者に多大な影響があること、コロナ禍やウクライナ情勢で資材調達が困難となっているため時間を要していますが、今後の安定した住環境整備のために引き続き設計、施工業者と密に情報交換を行って進めてまいります。

### ～改善活動～

- (1) 転倒事故の予防については、クラスター状況下では増加しましたが、それ以外では的確に職員間導師の状態・情報共有をし、対応に当たることができました。
- (2) 「仕事と生活の調和」については、有給休暇の取得（法定数）は全職員達成できました。  
地域の飲食店などとの連携については、おやつレク等で近隣の名店よりお取り寄せを行い、おでかけの雰囲気味わっていただくことができました。